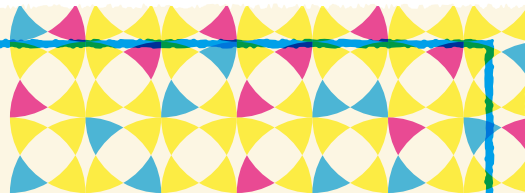




ケンブンスイッチ

9月号



9月は「印刷の月」

9月は日本印刷産業連合会が定める「**印刷の月**」です。「近代活版印刷の祖」といわれる**本木昌造の命日が9月3日**であることにちなみ、9月を通じて印刷産業への認識を深めてもらうことを目的とした各種のPRなどが行われます。この紙面では、**日本の印刷の歩み**について簡単に振り返ってみましょう。

オランダ語の通訳をしていた本木昌造が、オランダ製の活字印刷機を参考にカナ活字を作り辞書『**蘭和通辯**』を刊行したのは1848年のこと。これが**日本の近代活版印刷の始まり**ですが、さらに手彫りの木版印刷まで範囲を広げると、最古の印刷物としては奈良時代の770年に作られた「百万塔陀羅尼經」に行き着きます。現存する陀羅尼經は約2千巻が法隆寺に保管され、これは**製作年の判っている印刷物としては世界最古**のものだそうです。このように中世までの印刷は仏教と結びついて用いられ、源氏物語などの創作はすべて手書きの写本で伝えられました。しかし江戸時代になると庶民の教養や娯楽としての木版印刷物が登場し、識字率

の向上も相まって仮名草子や黄表紙、浮世絵、錦絵といったメディアが隆盛を極めます。こうした庶民文化の成熟を支えたのは、**流行るコンテンツを企画し、戯作者・絵師に作品を競作させ、それを庶民の手に届けた版元の存在**があればこそ。アナログ・デジタル・ネットメディアが渾然一体となった現代においても、**コンテンツをプロデュースする印刷業の役割は、重要性を増す一方**なのかもしれません。

9月印刷の月

一般社団法人 日本印刷産業連合会